

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公表番号】特表2011-518764(P2011-518764A)

【公表日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2011-026

【出願番号】特願2010-538001(P2010-538001)

【国際特許分類】

C 0 7 F 15/00 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 7 D 207/333 (2006.01)

C 0 8 G 61/00 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 15/00 C S P E

H 0 5 B 33/14 B

C 0 7 D 207/333

C 0 8 G 61/00

C 0 9 K 11/06 6 8 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月2日(2011.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

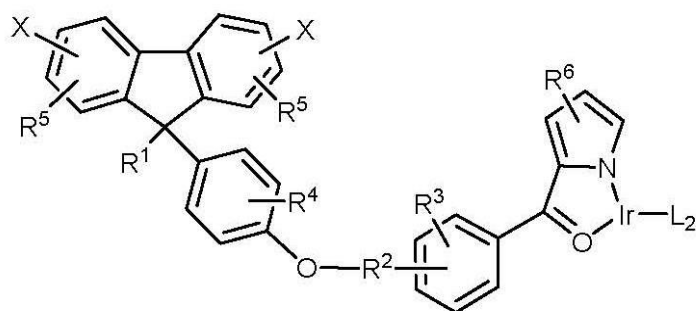
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次式の化合物。

【化 1】



I

式中、 $R^1$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 及び $R^6$ は独立に水素、アルキル、アルコキシ、オキサアルキル、アルキルアリール、アリール、アリールアルキル、ヘテロアリール、置換アルキル、置換アルコキシ、置換オキサアルキル、置換アルキルアリール、置換アリール、置換アリールアルキル又は置換ヘテロアリール基であり、

$R^{1a}$ は水素又はアルキルであり、

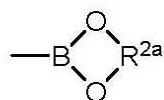
$R^2$ はアルキレン、置換アルキレン、オキサアルキレン基、CO又はCO<sub>2</sub>であり、

$R^{2a}$ はアルキレン基であり、

$R^5$ はそれぞれ独立に水素、アルキル、アルキルアリール、アリール、アリールアルキル、アルコキシ、カルボキシ、置換アルキル、置換アルキルアリール、置換アリール、置換アリールアルキル又は置換アルコキシ基であり、

Xは2, 5 - 位又は2, 7 - 位に位置するハロ、トリフレート、 $-B(OR^{1a})_2$ 、又は次式の基であり、

【化2】

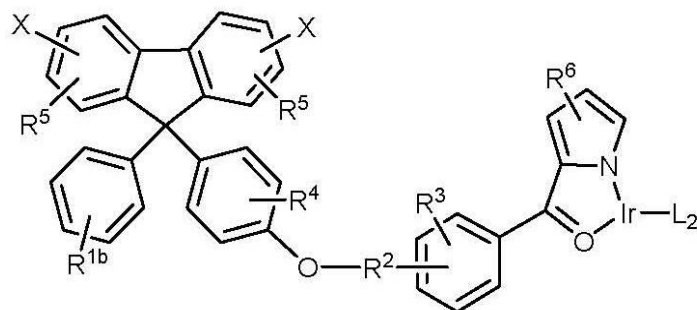


Lはフェニルピリジン、トリルピリジン、ベンゾチエニルピリジン、フェニルイソキノリン、ジベンゾキノザリン、フルオレニルピリジン、ケトピロール、2 - (1 - ナフチル)ベンゾオキサゾール、2 - フェニルベンゾオキサゾール、2 - フェニルベンゾチアゾール、クマリン、チエニルピリジン、フェニルピリジン、ベンゾチエニルピリジン、3 - メトキシ - 2 - フェニルピリジン、チエニルピリジン、フェニルイミン、ビニルピリジン、ピリジルナフタレン、ピリジルピロール、ピリジルイミダゾール、フェニルインドール、これらの誘導体又はこれらの組合せに由来する。

【請求項2】

次式で表される、請求項1記載の化合物。

【化3】



式中、 $R^{1b}$ は水素、アルキル、アルコキシ、オキサアルキル、置換アルキル、置換アルコキシ又は置換オキサアルキル基である。

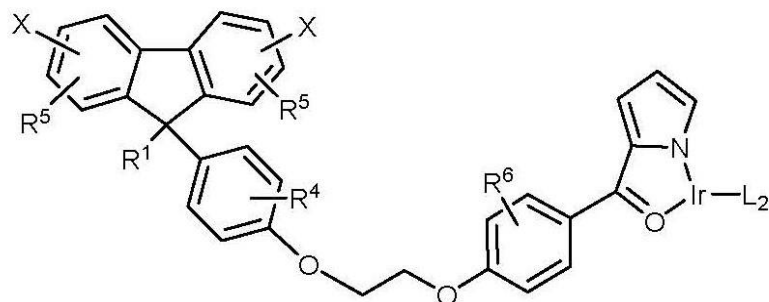
【請求項3】

$R^2$ がオキサアルキレン基を示す、請求項2記載の化合物。

【請求項4】

次式で表される、請求項1記載の化合物。

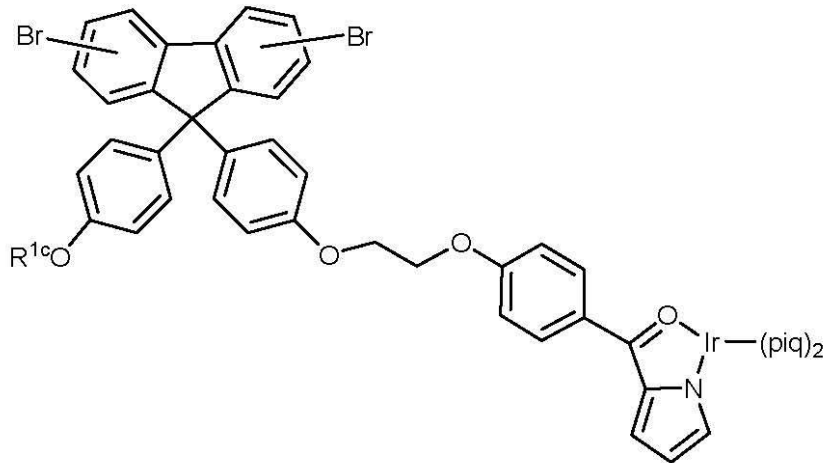
【化4】



【請求項5】

次式で表される請求項 1 記載の化合物。

【化 5】



式中、 $R^1$  は水素、アルキル又は置換アルキル基であり、 $piq$  はフェニルイソキノリルである。

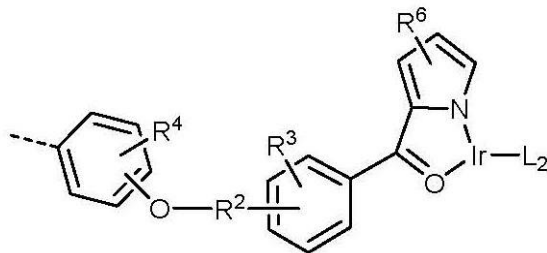
【請求項 6】

請求項 1 記載の化合物に由来する構造単位を少なくとも 1 つ含むポリマー。

【請求項 7】

次式の側基を少なくとも 1 つ含むポリマー。

【化 6】



式中、 $R^2$  はアルキレン、置換アルキレン、オキサアルキレン基、 $CO$  又は  $CO_2$  であり、 $R^3$ 、 $R^4$  及び  $R^6$  は独立に水素、アルキル、アルコキシ、アルキルアリール、アリール、アリールアルキル、ヘテロアリール、置換アルキル、置換アルコキシ、置換アルキルアリール、置換アリール、置換アリールアルキル又は置換ヘテロアリール基であり、 $L$  はフェニルピリジン、トリルピリジン、ベンゾチエニルピリジン、フェニルイソキノリン、ジベンゾキノザリン、フルオレニルピリジン、ケトピロール、2 - (1 - ナフチル)

ベンゾオキサゾール、2 - フェニルベンゾオキサゾール、2 - フェニルベンゾチアゾール、クマリン、チエニルピリジン、フェニルピリジン、ベンゾチエニルピリジン、3 - メトキシ - 2 - フェニルピリジン、チエニルピリジン、フェニルイミン、ビニルピリジン、ピリジルナフタレン、ピリジルピロール、ピリジルイミダゾール、フェニルインドール、これらの誘導体又はこれらの組合せに由来する。

【請求項 8】

さらに、少なくとも 1 つのフルオレン単量体に由来する構造単位を含む、請求項 7 記載のポリマー。

【請求項 9】

さらに、ジブromo - 9，9 - ジオクチルフルオレン単量体に由来する構造単位を含む、請求項 7 記載のポリマー。

## 【請求項 10】

さらに、少なくとも 1 つのトリアリールアミン単量体に由来する構造単位を含む、請求項 7 記載のポリマー。

## 【請求項 11】

L がフェニルイソキノリンに由来する、請求項 7 記載のポリマー。

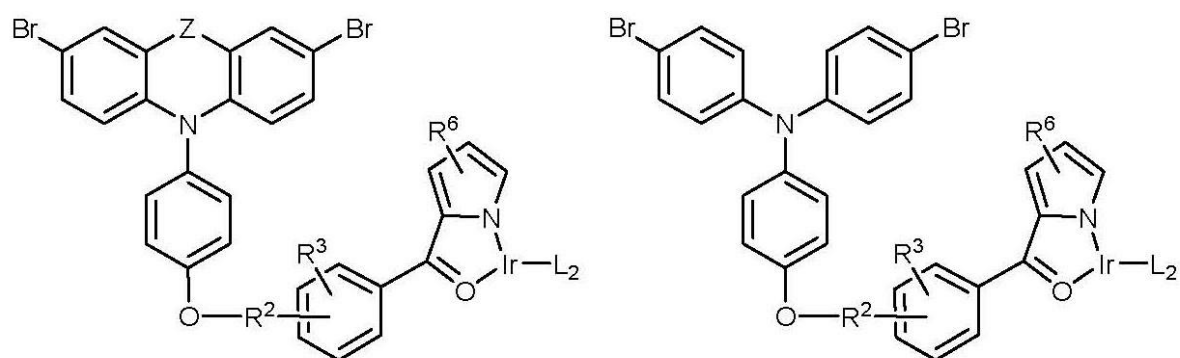
## 【請求項 12】

側基が請求項 1 記載の化合物に由来する、請求項 7 記載のポリマー。

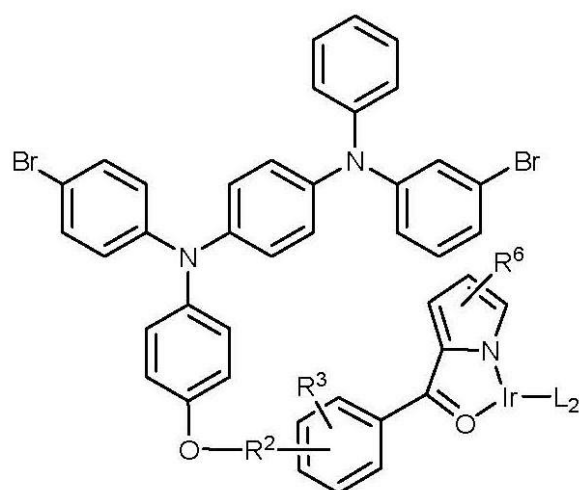
## 【請求項 13】

側基が下記から選択される化合物に由来する、請求項 7 記載のポリマー。

## 【化 9】



及び

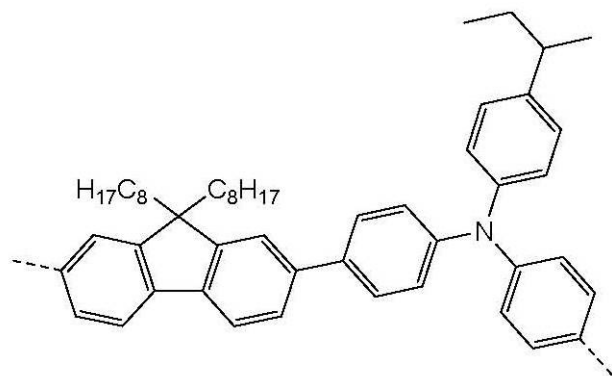


式中、Z は O、S 又は直接結合である。

## 【請求項 14】

次式の構造単位を含む、請求項 7 記載のポリマー。

【化 1 0】

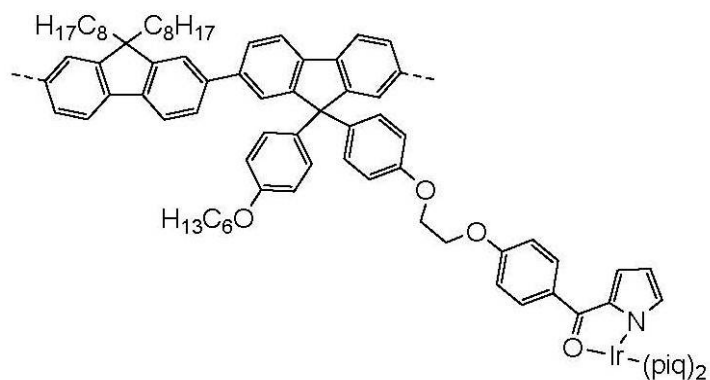


III

【請求項 1 5】

次式の構造単位を含む、

【化 1 1】

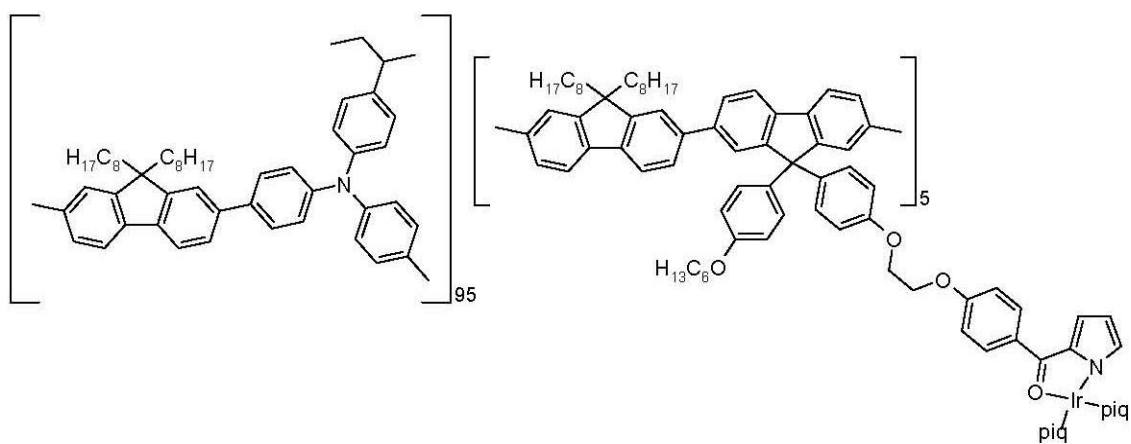


IV

又は、

次式の構造単位を含む、請求項 7 記載のポリマー。

【化 1 2】



式中、p i q はフェニルイソキノリニルである。

